

議会だより

Vol.
202
2020.4.24



卒園式

3月の
定例会

② 令和2年度当初予算
歴史伝承・福祉向上・農業復興加速
予算可決

④ こんなことが決まりました
1月臨時会・3月定例会

⑧ ズバリ!!町政を問う
遠藤一善議員一般質問

⑬ 新議会体制決定!!戮力協心
議会議員紹介・常任委員会等構成メンバー決定

別れと出会いの季節、そして未来へ／にここにこども園卒園式

令和2年度
当初予算

歴史伝承・福祉向上・農業復興加速 予算可決

《一般会計 185億円

特別会計 52億円 総予算237億円超》

《歴史・文化の伝承へ アーカイブ施設整備》

- 歴史民俗資料館事業費(教育費).....7億5532万円
- ◇町内の文化財の保全や震災遺産等の3D計測、震災体験を伝承する事業を実施する。
- ◇富岡町の歴史や震災、原発事故を後世に伝えるための拠点施設であるアーカイブ施設が本格的な建築工事に着手、ソフト面の展示物の製作等を実施する。



【令和3年夏開所予定】 本格的な建築工事が始まったアーカイブ施設

《高齢者の福祉向上へ共生型サポート拠点整備》

- 共生型サポート拠点整備事業費(民生費).....2億8128万円



整備候補地の富岡第二小学校

◇高齢者の福祉向上を図り、介護保険サービス提供の環境を整備するため、特別養護老人ホームとトータルサポートセンターを整備する。

問 共生型サポート拠点の整備と既存施設の解体スケジュールとの調整状況は。(高橋 実)

答 福祉課長 解体については2月下旬に現地立ち会いを実施しています。現在基本計画の策定中であり、事業については関係機関に説明済です。

【令和3年12月竣工予定】

《子どもの屋内遊び場へ地域交流館整備》

- 地域交流館整備事業費(民生費).....4億9021万円

◇子ども同士、保護者同士及び子どもと大人が交流できる地域の子育て交流拠点を整備する。

問 財源について国庫補助等の活用は。(堀本典明)

答 福祉課課長補佐 工事費等について国の交付金及び交付税を活用予定です。

【令和3年3月完成予定】



地域交流館整備イメージ

《農業復興の加速へ、カントリーエレベーター整備》

- 被災地域農業復興総合支援事業(農林水産業費).....19億3314万円

◇水稻150ha規模の乾燥調製施設で、現在基本計画の策定を完了し、施設整備に向けて造成測量設計委託及び施設建築設計委託を実施中。

問 カントリーエレベーター整備財源及び候補地の地権者との調整状況は。(渡辺三男)

答 産業振興課課長補佐 敷地購入は町単独費、造成及び建設費は国補助となります。地権者とも前向きに調整中です。

【令和3年秋完成予定】



定例会の
あらし

令和2年3月定例会は3月3日から6日まで4日間の会期で開催しました。令和2年度一般会計及び特別会計の当初予算をはじめ、令和元年度の補正予算、条例の制定及び一部改正、人事案件、工事請負変更契約案件など、計35件の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。また、議員発委により、議会各委員会の定数を現行の7名から5名以内に変更する条例案が提出され、全会一致で可決しました。一般質問では1議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について伺いました。(P4～P6参照)

【令和2年度の主な事業】

- 町づくり活性化事業(企画費).....9181万円
富岡駅前複合施設整備に係る調査や空き家実態調査、エネルギービジョン策定を行います。
- 営農再開支援水利施設等保全事業(農林水産業費).....4億2000万円
町内で就農しようとする方への支援を行い、新規就農者確保、農業技術伝承を図ります。
- 水産業振興事業(農林水産業費).....7億8131万円
富岡川の水産業振興のためサケふ化施設を整備します。
- 工業団地整備事業(商工費).....22億1839万円
地域活性化を図るための産業団地整備を引き続き実施します。
- 各種基金積立金.....10億5172万円
各種基金積立金及び利子積立金などです。

こんなことが決まりました。

工事契約

【利便性向上の為の道路新設工事】
 六反田2号線整備工事の請負契約について、可決しました。
 (1月臨時会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

- 工期 令和3年3月26日まで
- 契約金額 1億9445万8000円
- 工事概要
環境省特定廃棄物処分場の放流水モニタリングポストへのアクセス、地域交通網整備のための道路新設工事
- 契約相手方
富岡町大字本岡字王塚646-1 株式会社 丸東



工事変更契約

【工期及び契約金額の変更】
 曲田都市計画街路4号線築造工事(3工区)その2の工期延長及び契約金額の変更について、可決しました。
 (3月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

- 工期 令和2年3月23日までを令和2年5月29日に変更
- 契約金額
(変更前)1億6706万9100円
(変更後)1億7589万0000円
- 変更理由
環境省の盛土材(碎石)搬入工程遅延による工期の延長及び盛土工遅延に伴い必要となった養生工、構造物撤去工の追加により契約金額の変更となったもの。

【大規模区画確保の為の区画統合】
 富岡産業団地整備工事に係る契約金額の変更について、可決しました。
 (3月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

- 契約金額
(変更前)39億5730万2520円
(変更後)39億4158万0960円
- 変更理由
計5区画を一つの区画に統合することにより範囲内区画道路の削除及び変更、上水道管経路変更及び交通誘導員配置計画の変更、暗渠排水工の追加により契約金額の変更となったもの。

人事案件

新たな教育長に岩崎 秀一さん

教育長の任期満了に伴い、新たな教育長に岩崎秀一さんを任命することに同意しました。
 任期は、令和2年4月1日からの3年間です。
 (3月定例会) 賛成13票・反対0票



【略歴】
 昭和34年生 60歳
 平成28年4月より富岡町立富岡第一小学校長として着任
 (令和2年3月退職)

教育長を退任 石井 賢一さん

令和2年3月31日をもって、石井賢一さんが教育長を退任されました。



教育委員に矢内 秀行さん

教育委員の任期満了に伴い、新たな教育委員に矢内秀行さんを任命することに同意しました。
 任期は、令和2年4月1日からの4年間です。
 (3月定例会) 賛成13票・反対0票



条例制定

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例を定める

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い関係する町条例の一括改正をするための条例を可決しました。
 (3月定例会) 全会一致 原案可決

富岡町東日本大震災等による被災者に対する令和2年度の町税等の減免に関する条例を定める

東日本大震災及び原子力災害の被害を受けた納税義務者等の納付すべき令和2年度町税等の減免の措置を講ずる条例を可決しました。
 (3月定例会) 全会一致 原案可決

条例改正

富岡町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定める

歴史的な価値を有する文化財建造物の保存及び管理を促進し、地域文化の振興を図るための条例を可決しました。
 (3月定例会) 全会一致 原案可決

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正をしようとする条例を可決しました。
 (3月定例会) 全会一致 原案可決

富岡町奨学資金貸与基金条例の一部を改正する条例を定める

指定寄付金の受領により、所要の改正をする条例を可決しました。
 (3月定例会) 全会一致 原案可決



一般会計 補正予算

事業完了・精査による減額 《17億7146万円を減額補正》

事業の完了・精査による減額計上により17億7146万円の減額補正を行い、総額211億1043万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
児童手当支給事業費	2804万円減
営農再開支援事業費(営農再開支援事業補助金等)	2189万円減
農地基盤整備対策事業費(委託料・工事費等)	7億6540万円減
水産業振興事業費(調査設計監理委託料・用地購入費等)	4646万円減
中小企業等支援事業費	3585万円減
工業団地事業費(物件移転補償費等)	2243万円減
道路新設改良事業費(負担金・委託料・用地購入費等)	3573万円減
防災事務諸経費(工事請負費等)	4182万円減
その他	7億7384万円減

条例廃止

富岡町農村広場条例を廃止する条例を定める

公園施設の効率的な管理を行うため富岡町農村広場を廃止する条例を可決しました。
(3月定例会)
全会一致 原案可決



廃止される上手岡農村広場

指定管理者の指定

富岡町複合商業施設の指定管理者を指定

富岡町複合商業施設の管理における指定管理者の指定について可決しました。
《指定管理者》
大和リース株式会社 福島支店 支店長 半澤 実
(3月定例会)
全会一致 原案可決

富岡町社会体育施設の指定管理者を指定

富岡町社会体育施設の管理における指定管理者の指定について可決しました。
《指定管理者》
公益社団法人富岡町さくら文化スポーツ振興公社 代表理事 堀川 章仁
(3月定例会)
全会一致 原案可決

【指定管理者制度とは】
公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度です。

議員が切り込む!!

質疑応答

【富岡町文化財建造物】

問 文化財建造物(旧大原本店)について今後どのような管理していくのか。
(渡辺三男)

答 生涯学習課長

施設内事務室に入居する団体に受付や清掃、担当課との連絡調整を任せ管理などがかららないような運営を検討しています。

問 現時点での管理団体の具体案はあるのか。
(渡辺三男)

答 生涯学習課長

管理団体としては維持管理、連絡業務の件も含めシルバー人材センターと協議を進めています。

【複合商業施設指定管理者】

問 指定管理者の行う業務について詳細説明を。
(安藤正純)

答 産業振興課長

保安警備、設備保守、環境衛生といった施設の維持管理上で必要な空調関係、店舗内清掃、ごみ管理、修繕や町担当課との調整業務です。

問 指定管理者が常駐し、なにかあった際は即時対応出来るということでしょうか。
(安藤正純)

答 産業振興課長

指定管理者の協力会社が365日24時間体制で警備を行い、深刻な状況に陥ることのないよう対応します。

【産業団地整備工事】

問 区画統合に伴う減額ということだが、大規模区画にすることで実際に企業が進出する見込みはあるのか。
(渡辺三男)

答 企画課長

現在、企業誘致を進めており、具体的に大規模区画を希望している企業と接触しています。

問 大規模な区画を希望する企業がどれほどあるのか。
(渡辺三男)

答 企画課長

産業団地全体として先般実施した2期募集でも2社が内定しています。双葉郡内に物流関係で関心を抱いている企業もあると聞いており、区画の大小に限らず多数問い合わせを受けている状況です。

議員が切り込む!!

質疑応答

【令和元年度補正予算】

問 新型コロナウイルス対策事業費の減額理由は。
(宇佐神幸一)

答 健康づくり課長

例年、対策として衛生用品、医薬品の備蓄を実施しておりますが、現在新型コロナウイルスによる影響で物品の納品が困難な状況であることから、次年度予算での対応とし、今年度予算は減額としたものです。

問 新型コロナウイルスについて、万が一感染が疑われる場合の町内の医療体制について伺いたい。
(宇佐神幸一)

答 健康づくり課長

感染症が疑われる場合は保健所に設置されている相

問 農業者支援事業補助金について、半分に満たずに減額となっているが状況は。
(遠藤一善)

答 産業振興課長

避難農業者が避難先で農業を再開した場合の補助については対象者がいなかったことにより減額。がんばる農業支援事業については、今年度の利用見込30件として予算の減額をしたものです。





遠藤 一善 議員

問 大倉山森林公園の機能回復を

答 放射線量の推移を確認して判断

問 遊歩道コースの除染後の放射線量の現状は。

答 町長 大倉山森林公園の整備については今後の町内森林整備事業の進捗や、森林公園内の放射線量の推移を確認し、再開に向けた整備時期を判断します。

問 震災前、小中学生の森林学習をはじめ、町民の安らぎの場として活用されていた大倉山森林公園を、里山機能回復の位置づけとして再生を目指した整備をすべきと考えるが町の考えは。

答 町長 平成30年度の事後モニタリング結果では測定地点179地点の平均値は、地上1mで平均0.66μSv/hです。

問 遊歩道の平均線量が0.66μSv/hとのことだが、遊歩道自体が高いのか、周辺の影響で高くなっているのか分析は。

答 生活環境課長 周辺の影響も考えられますが、地上1mでの測定しか実施していない為、地上1cmでの測定も実施し傾向を探っていきます。



整備が待たれる大倉山森林公園

問 観光としての桜への対策について、具体的な方針は。

答 町長 町営住宅王塚第2、第3団地への入居開始、住宅分布等を把握する基礎調査、地域魅力の発信と首都圏等での移住相談会への参画、除草剤の配布、新たな桜の植樹による桜並木の保持形成などを行い、よりよい居住環境の創出を図ります。

問 さらなる人口増を目指し居住環境整備を進めるべきと考えるが、来年度の具体的施策は。

問 町内人口増に向けた具体的施策は

答 植樹による桜並木の保持形成等を実施

問 二地域居住及び交流人口を増やしていくための具体的政策は。

答 町長 夜の森桜まつり、麓山の火祭り等による交流機会の創出、アーカイブ施設整備による町の歴史、文化と震災教訓の伝承や、大学との連携による地域住民との交流、インターンシップや企業等の視察研

問 町内に一定期間、居住してもらう、体験住宅のような施策は。

答 企画課長 お試し住宅のような形で、空き家の把握と町内居住人口等の情報を踏まえ今後実施に向け検討を進めていきます。



劣化の激しい桜の木

答 産業振興課長 桜の樹勢診断を実施し、各々の桜の状況を判断した上で、植栽等を行っていく予定です。

ズバリ!! 町政を問う



1 議員が質問

3月定例会の一般質問に1議員が登場し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。



1 遠藤 一善 議員.....9

- 大倉山森林公園の機能回復を
- 町内人口増に向けた具体的施策は



動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。

※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜借上げ型町営住宅の次年度運用は＞

- Q** 借上げ型町営住宅に多くの空きが見受けられるが、現在の問い合わせ状況や入居条件の緩和についての考えは。
- A** 仮設住宅供与期間終了に伴い問い合わせは増加傾向にありますが、入居には至っていません。次年度は町内で仕事される方、福祉関係の団体職員、ふるさと応援隊等の入居打診があり、復興加速の観点から入居条件の緩和について検討しています。 【総務課】

＜ふるさと納税、返礼品工夫による税収確保を＞

- Q** 現在、当町のふるさと納税による税収は少なく、大きな収入を得ている自治体もある。現在の状況で返礼品等難しいと思われるが農業振興等工夫して税収の確保を。
- A** 返礼品の選定は重要だと認識しています。他自治体と税収の取り合いをする考えはないものの、町内産の安全性のPRや流通等の情報発信を踏まえて検討していきます。



【総務課】

＜産業団地進出予定企業の状況は＞

- Q** 産業団地の第2期募集3社申請があり、1社辞退と聞いたが残り2社は予定通り契約へ進んでいくのか。
- A** 産業団地進出希望の2社については、今後国の補助金申請を行い採択後立地協定等へ繋げていく予定です。

【企画課】



一部供用が開始される産業団地



第1期募集の4社と立地協定締結

＜富岡駅前にぎわいづくりイベントスペースの運用について＞

- Q** 富岡駅前に整備する駐車場兼イベントスペースについてどのような運用方法を検討しているのか。
- A** イベントスペースは町が整備する複合施設用の駐車場、各種ソフト事業を実施するにぎわい創出スペースとして活用を検討しています。

【企画課】



交流促進が期待される富岡駅前保留地



＜帰還困難区域への立ち入り手続きの簡略化検討を＞

- Q** 帰還困難区域への立ち入りについて、書類のやり取り等手続きが煩雑である、カード式にするなど、運用方法の簡略化について会議等で提案しているのか。
- A** 会議の場では特にカード式の提案等はしていません。防犯等の面から課題もありますが、国などに会議の場で提案していきます。

【住民課】

＜成人式、継続して実施出来るよう検討すべき＞

- Q** 成人式、前年よりかなり参加人数が少なくなった。この状況だと今後成人式の開催が難しくなるのではないかと懸念されるが、考えは。
- A** 大きな課題であると認識しています。成人式という形を維持するのか、違った取り組みを実施するのか、保護者の思いや三春校の卒業生の状況も勘案し検討します。

【生涯学習課】



2020年富岡町成人式



- 議会事務局
- 出納室
- 生涯学習課
- 教育総務課
- 住民課
- 税務課
- 企画課
- 総務課
- 所管課

※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜ おだがいさまセンター利用終了、利用者への対応は ＞

Q おだがいさまセンターの外部利用が1月で終了したが、サークル、いきがい活動をしていた居住者への対応は。

A 施設を利用されていた方については市内の公民館等を利用して活動していただき、生涯学習サークルについては担当課と調整していきます。問い合わせ頂いた際は市との調整など支所として対応したいと考えています。【郡山支所】

＜ 新型コロナウイルス対策の物品の備蓄は ＞

Q 新型コロナウイルス関連でマスク・アルコール等の備蓄はあるのか。

A インフルエンザ等への対策として、マスク20,000枚、小さめサイズのマスク7,500枚、アルコール、医療用マスク、防護服を防災用途とは別に備蓄しています。(数量は令和2年2月末時点です)【健康づくり課】



＜ 夜ノ森駅西側道路の安全確保を ＞

Q 夜ノ森駅西側の道路は狭く、大型の工事車両の通行も多い為、一般車両の安全確保の為、工事車両についてはもう一本西側の道路を利用させるなど対応を。

A 道路幅員狭く、すれ違い困難な状況が見受けられます。西側の道路の利用を検討し交通分散調整を実施いたします。【都市整備課】



幅員が狭く、すれ違い困難な駅西側道路



交通分散調整が検討される町道清水前下千里1号線

＜ 除染山砂の道路路肩流出への対応を ＞

Q 除染した町道の路肩で山砂により埋め戻した部分が流出し、舗装が壊れる恐れがある。除染を実施した部分なので環境省に対応依頼を。

A 現在、全体的に路肩の補強は検討していませんが、早急に必要な部分是对应していきます。なお、環境省には路肩・除染部分の対応を強く申し入れていきます。【都市整備課】

＜ 町内循環バスの更なる利便性の向上を図るべき ＞

Q 現在運行している循環バスだが、杉内方面の運行予定はないのか。更なる利便性の向上を図るべきと考えるが。

A 現在循環バスが6便ありますが、杉内方面の運行について運行業者と協議をしたところ運転手の不足などにより対応は困難な状況です。引き続き利便性の確保について協議を実施してまいります。【産業振興課】



富岡駅から富岡町役場間の循環バス

＜ 町消防団組織再編急務と考えるが ＞

Q 現在、消防団員への負担が大きいと感じる。組織の再編も進んでおらず補助事業としてのパトロール含め町として考えなければならない時期にきていると思うが、考えは。

A 地域の実情に精通している消防団の防火・防犯パトロールは継続していきたいと考えます。消防団の組織再編については令和2年度内に目に見える形で報告いたします。【生活環境課】



夜ノ森駅前をパトロールする消防車両

- 生活環境課
- 産業振興課
- 農業委員会
- 健康づくり課
- 福祉課
- 都市整備課
- 郡山支所
- いわき支所
- 【所管課】

原子力等
特別委員会

要望① 排気筒解体設備の電源 トラブル説明を



渡辺三男議員

1・2号機の排気筒解体に伴う解体設備の電源喪失について詳細を説明せよ。

排気筒の附属設備である点検用階段の手すりにアームが接触し漏電ブレーカーが作動したのではないかと考えられます。現場を確認し、電源復旧作業を実施予定です。



東京電力㈱

要望② 労働環境改善、質の向上を願う



東京電力㈱

専門の作業員が離れて、事故当時の状況をしっかりと理解する作業員が減っていると感じる、継続雇用で更なる質の向上を図るべきと考えるが。

アンケートを実施した結果、作業員からは使命感を持って引き続き携わりたいと言う声も寄せられています。入所時教育や不具合・事故情報等共有しながら更なる改善に努めます。



高野匠美議員

要望③ 第2原発廃炉の工程前倒し検討を



早川恒久議員

第1原発の廃炉作業と同時進行となるが、人的リソースの配慮等により作業ピークの抑制を願う。状況を見ながら第2原発廃炉の工程前倒し検討を。

まず第1原発の廃炉が最優先と考えており、要員確保・適正配置を考え第2原発廃炉に遅延がないよう対応していきます。習熟効果も期待されるので、工程短縮に努めていきます。



東京電力㈱

要望④ 商工業者、関係機関等との協議会 設置を求める



東京電力㈱

営業損害賠償等について町担当課や商工業者、商工会と東京電力で組織する協議会などの相談・説明の場を設置願いたい。

商工業者と個別の事情に関する相談や説明の機会を設定出来ればと考えています。関係各所と調整し対応していきます。



安藤正純議員

◆特定復興再生拠点区域内健康増進施設整備

既存施設を解体撤去、規模を縮小し、同一立地で整備。避難指示解除の時期を念頭に令和5年4月をオープン目標にスケジュールを設定。建築工事末工期を令和4年12月末とし、全体行程を設定。基本計画を令和2年9月策定、年度内に施設整備検討委員会立ち上げ、6月に中間報告、9月に最終報告予定。基本計画策定後、建築設計、工事へ。

問 検討委員会のメンバー構成は。(早川恒久)

答 健康づくり課長
町民の代表や施設利用者、関係者等をメインに検討しています。

問 リフレ富岡を解体すれば広大な敷地となる、先々を考えコストを抑えた施設検討を。(早川恒久)

答 健康づくり課長
ご指摘を踏まえ、検討委員会で議論の上、整備に繋がっていきます。



今後の展開が期待される夜の森地区(右下がリフレ富岡)

◆共生型サポート拠点整備事業

現在、基本計画策定中に伴い、規模感及びスケジュール案について報告。

【施設面積】

①特別養護老人ホーム(広域型/50床)	②ショートステイ	⇒ 3,000㎡	
③トータルサポートセンター		⇒ 1,000㎡	計4,000㎡ (約1,210坪)

【スケジュール】 令和3年12月竣工予定

令和2年春に基本計画を策定、夏に公募型プロポーザルを実施し、デザイン&ビルド型の設計施工の一括発注、秋には業務委託契約の締結により設計業務へ着手し、令和3年1月に建築工事に着手予定。

問 外構工事も含めて、これだけの規模の工事を1年では厳しいのでは。(渡辺三男)

答 福祉課長
大規模な施設となる為、デザイン&ビルドによる一括発注としたものです。類似施設の工期を参考にスケジュールを設定しました。

問 町で施設を整備するが運営についてはどのような形で運営していくのか。(早川恒久)

答 福祉課長
運営に関してはハード整備と並行して、プロポーザル等による業者選定を行い、指定管理で検討しています。

【プロポーザル方式とは】

業務の委託先や設計者を選定する際に、企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定することです。

◆地域交流館整備事業

実施計画策定の進捗に伴い施設イメージパース等の報告。



地域交流館内部イメージ

問 さくらモールもあり、交通量も多いことから駐車スペースどのように考えているか。(遠藤一善)

答 福祉課長
施設隣接で一般用、身障者用それぞれ2台ずつの計4台で検討しています。さくらモール駐車場の活用も想定しており、安全面については今後担当課と協議していきます。

組織
改編

新議会体制決定!! 戮力協心



—全議員の力を集結、復興に全力で取り組みます!!—

富岡町議会議員紹介

①議席番号 ②当選回数 ③氏名 ④議会での主な役職等



①1番 ②3期
③堀本 典明
④副議長
総務文教常任委員会委員
議会運営委員会委員
議会報編集特別委員会委員



①2番 ②1期
③佐藤 教宏
④原子力発電所等に関する
特別委員会副委員長
産業厚生常任委員会委員
議会報編集特別委員会委員



①3番 ②1期
③佐藤 啓憲
④議会報編集特別委員会
副委員長
総務文教常任委員会委員



①4番 ②2期
③渡辺 正道
④議会運営委員会副委員長
総務文教常任委員会
副委員長



①5番 ②2期
③高野 匠美
④議会報編集特別委員会
委員長
産業厚生常任委員会副委員長
双葉地方水道企業団議会議員



①6番 ②3期
③遠藤 一善
④議会運営委員会委員長
産業厚生常任委員会委員
双葉地方広域市町村圏組合
議会議員



①7番 ②3期
③安藤 正純
④総務文教常任委員会委員長
議会運営委員会委員
双葉地方広域市町村圏組合
議会議員



①8番 ②3期
③宇佐神幸一
④産業厚生常任委員会委員長
議会運営委員会委員
双葉地方水道企業団議会議員



①9番 ②7期
③渡辺 三男
④原子力発電所等に関する
特別委員会委員長
総務文教常任委員会委員



①10番 ②7期
③高橋 実
④議長
産業厚生常任委員会委員
双葉地方広域市町村圏組合
議会議員

改選後、初の議会となる令和2年第3回臨時会が4月7日に招集され、今後4年間の議会組織構成を決定しました。
議長、副議長の選挙を行った結果、議長に高橋実氏、副議長に堀本典明氏が選出されました。
また、各委員会の選任をはじめ、双葉地方広域市町村圏組合及び双葉地方水道企業団の議会議員の選挙や各種審議会等の委員の推薦を行いました。



◇任期 令和2年3月31日から令和6年3月30日まで

富岡町が直面する課題と全町復興に資する施策等について、議員一丸となって町執行部と議論を重ねながら全力で取り組んでまいりたいと思います。
帰還困難区域全域の避難指示解除と、継続した除染等により一人でも多くの町民の皆様の帰町実現を目標とし、子ども達が今後の未来、新しい時代に対応出来る教育環境の整備、富岡町で結婚、出産し安心して子育てをしていけるような環境や町民の誰しもが生き生きと輝けるような富岡町の実現に向け最善の努力を尽くしていく決意でありますので、皆様の格別なるご支援とご協力をお願いいたします。就任のご挨拶とさせていただきます。

高橋実議長就任挨拶



議長
高橋 実

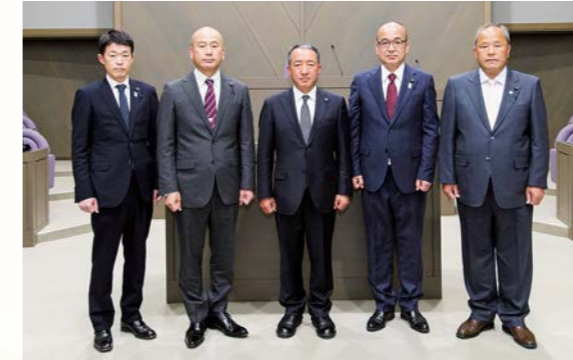


副議長
堀本 典明

初当選議員の抱負

常任委員会等構成メンバーが決定!

※ ◎委員長 ○副委員長



左から 堀本典明・佐藤啓憲・◎安藤正純・○渡辺正道・渡辺三男

総務文教常任委員会
 委員長 安藤 正純
 副委員長 渡辺 正道



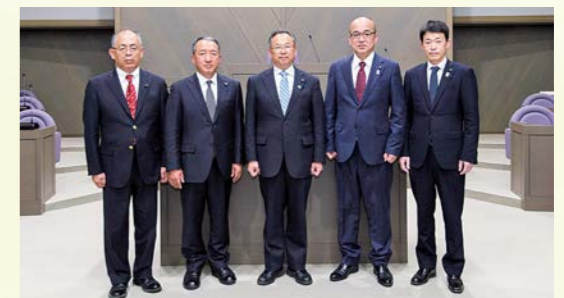
左から 遠藤一善・佐藤教宏・◎宇佐神幸一・○高野匠美・高橋 実

産業厚生常任委員会
 委員長 宇佐神幸一
 副委員長 高野 匠美



◎渡辺三男・○佐藤教宏

※議長以外の全議員が構成委員になります。



宇佐神幸一・安藤正純・堀本典明
 ◎遠藤一善・○渡辺正道



佐藤教宏・○佐藤啓憲・◎高野匠美・堀本典明

議会運営委員会

議会報編集特別委員会

この度、富岡町議会議員一般選挙におきまして、皆様のご支援をいただき初当選させていただきました。心より感謝申し上げますとともに、皆様の期待を裏切らないよう町政発展のため誠心誠意活動してまいる所存です。あの東日本大震災以前の賑わいあふれた富岡町を取り戻すため、復興をさらに加速化し希望の持てるまちづくりを目指します。一朝一夕にできるものではありませんが、一步一步着実に前へ進めてまいります。



佐藤教宏議員
 小良ヶ浜行政区
 学歴・富岡町立富岡第一中学校
 福島県立双葉高等学校
 日本体育大学体育学部 卒



佐藤啓憲議員
 新夜ノ森行政区
 学歴・富岡町立富岡第一中学校
 科学技術学園高等学校 卒
 (富岡町スポーツ推進員)

はじめに、平成23年3月の東日本大震災により、被災された方々にお見舞いを申し上げます。加えまして原子力事故に伴い、今もお避難生活を余儀なくされている方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。この度の選挙で皆様からの温かいご支援により初当選することができました。心よりお礼と感謝を申し上げます。今後しっかりと研鑽を重ね町発展のために、これまで30年間スポーツを通して実践してきた活動を基軸として、新たな町づくりに誠心誠意努力してまいります。どうぞご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

双葉地方広域市町村圏組合議会議員

高橋実 ・ 遠藤一善 ・ 安藤正純

双葉地方水道企業団議会議員

高野匠美 ・ 宇佐神幸一

条例に基づく各種委員

- ◇富岡町都市計画審議会委員 [堀本典明 ・ 遠藤一善]
- ◇富岡町青少年問題協議会委員 [佐藤啓憲 ・ 渡辺三男 ・ 宇佐神幸一]
- ◇富岡町総合開発審議会委員 [渡辺正道 ・ 佐藤教宏]
- ◇富岡町民生委員推薦会委員 [安藤正純 ・ 高野匠美]
- ◇富岡町水防協議会委員 [宇佐神幸一]

人事

【監査委員の選任】

議員から選任される監査委員に、宇佐神幸一氏を選任することに賛成多数で同意しました。任期は議員の任期となる4年間です。

(4月臨時会)
 賛成多数 原案可決



宇佐神幸一氏



ちよひとと

みなさまの声

Q. 震災後の富岡町の教育の現状について、どのように感じていましたか。

A. 三春町の仮設校舎で学校を再開した時は、備品や教材教具も乏しく、まさしくゼロからのスタートでした。その中で、全教職員が知恵を出し合い、試行錯誤しながら新たな教育活動を創り出してきました。富岡校を再開するときは、三春校の実践を参考に、教職員一丸となって教育活動を行ってきました。その当時の教職員の姿を見て、富岡の教育は大丈夫だと感じていました。

Q. 先日、教育長に選任されましたが、展望や課題などお考えをお聞かせください。

A. 学校教育では、3年目を迎えた富岡校の教育をさらに充実させることと、富岡町の幼・小・中学校の歴史をつないできた三春校の教育をどう充実させていくかが課題です。生涯学習では、町に帰還した方と避難先で生活している方を元気にするには何が必要か、何ができるかが課題です。「人づくりを通して町を元気にする」ことが、教育委員会の責務であると考えています。

Q. 今後、富岡町の学校教育・生涯学習に必要なことはどのようなことだと思いますか。

A. 東日本大震災と原発事故による避難生活を経験した方々の心情を理解すること、富岡町の復興のために尽力している方々の思いを理解すること、すなわち他者理解が「教育」には必要です。様々な意見に対して耳を傾け、時には寄り添い、時には真摯に説明する。その中で信頼関係が生まれ、教育委員会が行う様々な取り組みに対して理解を得ることができると考えます。もちろん教育委員会として学校教育や生涯学習・社会教育に対して指導や助言を行うこともあります。教育長として真摯に職責を果たしていきたいと思ひます。



岩崎秀一(小良ヶ浜)
富岡町教育委員会 教育長

【略歴】

- 昭和57年 国士舘大学卒
- 昭和57年 西会津町立奥川中学校 (県内各地の小・中学校に勤務)
- 平成15年 飯館村立飯館中学校 教頭 (主に双葉郡内の小中学校教頭を歴任)
- 平成21年 富岡町立富岡第二小学校 教頭
- 平成24年 浪江町立苅野小学校 校長
- 平成26年 南相馬市立八沢小学校 校長
- 平成28年 富岡町立富岡第一小学校 校長 (令和2年3月退職)

議会を傍聴しませんか？

- 6月定例会は、17日(水)～18日(木)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所・氏名・性別・年齢(○歳代)を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



改選後初めての議会だより発行となり、議会報編集特別委員会の委員も新人議員の2人を迎え4名体制で新たなスタートを切りました。

東日本大震災から9年が過ぎ、帰還困難区域の一部解除、JR常磐線の全線再開と、一歩一歩着実に復興への歩みを進めておりますが、未だ解決すべき課題は山積しております。

新型コロナウイルスによる影響により多くのイベントや活動の自粛をお願いしており、ご不便をおかけしておりますが、引き続き町執行部と共に富岡町の復興に全力で取り組み、随時その状況を「議会だより」という形で皆様にお届けしたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

(高野 匠美)

発行責任者

議長 高橋 実

議会報編集特別委員会

委員長 高野 匠美

副委員長 佐藤 啓憲

委員 佐藤 教宏

委員 堀本 典明

この印刷物は、FSC® の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。



富岡町議会公式ホームページ



富岡町議会

で 検索